

経営協議会学外委員からの意見を大学運営に活用した主な取組事例

経営協議会学外委員からの意見	大学運営に活用した主な取組事例
<p>○平成 28 年 1 月 19 日開催分</p> <p>その他 意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関の専門部署には企業の情報が集まるため、そのような専門部署と意見交換することによりマッチングしてはどうか。 ・ 東京等で実施する研究成果発表会のような取組みが外部資金獲得に結びつくのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関との意見交換の充実に資するため、以下の取組を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 一 「イノベーションネットワークあおもり」（代表・青森県知事）の実行部隊である「タスクフォース」において、青森銀行、みちのく銀行の担当者を含めた構成員と月 1 回事業内容報告等の情報交換を実施。 一 「イノベーションネットワークあおもり」の平成 28 年度事業として、八戸市において企業と大学・研究機関とのマッチングを実施。 一 北東北 3 県の金融機関（青森銀行、岩手銀行、秋田銀行）と北東北 3 大学（弘前大学、岩手大学、秋田大学）から構成される『ネットビックスプラス』を平成 28 年 7 月に立ち上げ、3 銀行が持つ企業ニーズと 3 大学が持つ研究シーズとマッチングを行う事業をスタートした。 ・ 平成 26 年度より毎年、北東北 3 大学（弘前大学、岩手大学、秋田大学）が連携・協力しながら、研究成果（特許）等の大学シーズを発表する場として、「新技術説明会」を開催している。この説明会での首都圏企業とのマッチングにより、共同研究契約を締結した研究シーズもあり、首都圏での産学連携活動が外部資金獲得にも繋がっている。
<p>○平成 29 年 3 月 21 日開催分</p> <p>審議 2：平成 29 年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について 意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 つのポリシー（A P ・ C P ・ D P）等、英語や省略語で記載されている部分があり、内容が分かりづらい。 <p>審議 5：東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について 意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 免除の対象者について、基準日を設けなければ、今後指定が解除された場合、適用となるか不明確になるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議の概要説明資料に英語や省略語で記載されている部分があった。今後、作成する資料は一般的な表記を心がける。 ・ 平成 29 年度の入学試験委員会において検討することとした。